

◆ 解答例



◆ 解説

この問題は、繰り返し処理と条件分岐を組み合わせた問題になります。

注意すべき点は、条件分岐問題9で利用した「と聞いて待つ」と「答え」を組み合わせた条件指定と、「と 2 秒言う」で「正解！」と言う回数は、1回だけで良いということです。

これは、「4 回繰り返す」ブロックの中に「と 2 秒言う」を入れないように注意すれば問題ありません。もし、「4 回繰り返す」の中に「と 2 秒言う」を入れてしまうと、「正解！」と言う命令を4回繰り返してしまうことになるため、問題文で提示されているアニメーションのようにはならないので注意が必要です。